

市民版

セーターなどの毛糸を再利用したミサンガを
持つ学生と友の会メンバーら
(京都市上京区・同志社大新町キャンパス)



縦糸にひも通しを上、下、上、下と一本ずつ交互にくぐらせてゆるめに織っていきます

毛糸を使ったさをり織りの方法を紹介する動画の一場面

動画は約5分。毛糸のほどこき方や、厚紙に切り目を入れて渡した

「さをり織り」の方法を紹介する動画も制作した。

また着られる服を捨てる「衣類ロス」問題に関心を持ってもらおうと、京都市内の学生や市民団体が、セーターなどを毛糸に戻して小物作りを楽しむことを提案する取り組みを始めた。手首などを飾るミサンガ(組みひも)の作り方を紹介する動画も作り、物を大切に

減量推進員の経験者でつくる「市ごみ減量めぐるくん推進友の会」、

同志社大の小谷真里准教授のゼミ生と、ごみ

4本程度の縦糸に横糸をくぐらせて編み込む「さをり織り」の方法を紹介。子どもも簡単にミサンガやカチューシャ、コースターなどが作れることをアピールしている。衣類ロスが環境に与える影響を解説する動画も制作した。

京の学生や市民団体 動画でミサンガ作り紹介

「服捨てないで」小物に変身

友の会の高橋かつ子会長(79)は「学生さんには感性が若く、SNSや動画でも助けてもらった」、同大3年の村田彩心さん(20)は「さをり織りや、セーターをほどこくアイデアは勉強になった」と、

18日には伏見区横大路で幼児や小学生向けのミサンガ作り講座も開く。無料。多数の場合は抽選。申し込みは8日までに環境学習施設「さすてな京都」のホームページから。(高橋道長)

互いの世代の長所を生かした。2人は着なくなった服にも思い出がある。リメイクして大切に使う。と話していた。



賃貸・売買・資産管理



学生ハウジング

0800-100-3215
https://3215.co.jp

賃貸不動産経営に関することはお気軽にご相談ください。

おかげさまで創業35周年
株式会社学生ハウジング
本社：北・上賀茂柳田町78
(北山駅 徒歩5分)

読者応答室
075(241)5421

まちかど
FAX 075(252)5454

休日急病診療所

3日

小児科・内科・眼科
小児科は午後2時～5時、午後

6時～翌朝8時、内科・眼科は午後6～10時、中京区のJR二条駅前、府医師会館1階の京都市急病診療所(354)60021。